学校番号	３００７

令和８年度　地歴・公民科

教科	地理歴史科	科目	日本史探究	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	日本史探究「高校日本史」　（山川出版）						
副教材等							

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

世界の各地域では民族運動が活発化し、地域紛争が起こりやすい状況が続いている。また、情報通信システムの改新によりグローバル化がいっそうすすむなかで、日本が国際的に果たすべき役割も一段と大きくなっている。
みなさんが自ら学び考える能力をやしなえるようになってほしい。時代の流れと転換をとらえより深く歴史を探求したもらいたい

2　学習の到達目標

知識・技能、思考・判断・表現、学びに向かう力、人間性の３つの資質、能力の観点から社会的事象の歴史的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家および社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を育成することを目指す。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	我が国の歴史の展開に関わる諸事象について、地理的条件や世界の歴史と関連づけながら総合的にとらえて理解しているとともに、諸資料から我が国の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身につけるようにする。	我が国の歴史の展開に関わる事象の意味や意義、伝統と文化の特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史にみられる課題を把握し解決を視野に入れて構想したり、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらをもとに議論したりする力を養う。	我が国の歴史の展開に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1	第Ⅰ部原始・古代	第1章 日本文化のあけぼの 第2章 古墳とヤマト政権 第3章 律令国家の形成 第4章 貴族政治の展開	a: 日本列島における旧石器文化・縄文文化の成立と変化を、自然環境の変化や大陸からの影響に着目して理解している。 中国の歴史書の記事をもとに、資料から歴史に関わる情報を収集して読み取る技能を身につけている。 推古朝の政治や飛鳥文化の特色について、中国大陸・朝鮮半島との関係などに着目して理解している。 隋・唐など中国王朝との関係と政治への影響や、律令制の形成を中心に大化の改新以降の政治過程を理解している。 平城京における律令体制の整備について、遣唐使の派遣や地方社会との関わりなどに着目して理解している。 隋・唐など中国王朝との関係と文化への影響などに着目して、律令体制の形成と密接に関連する仏教文化の特色を理解している。 3つの絵画を比較して、様々な情報を適切かつ効果的に調べてまとめ、歴史資料の保存・保全の努力が図られていることを理解している。 諸資料から情報を読み取り、源平の争乱から執権政治確立までの歴史過程、封建制度の成立、鎌倉幕府と朝廷による二元的支配の構造、執権政治の特質、御家人の特質やその地域支配について理解している。 b: 遺物や遺構など考古学上の知見から、旧石器文化・縄文文化の	定期考査／提出課題／発問評価	定期考査／提出課題／発問評価／発表・レポート提出	提出課題／授業態度／発表・レポート提出

			社会について考察し、表現している。 諸資料を収集して分析し、ヤマト政権の発展や古墳文化の特色について、多面的・多角的に考察し、表現している。 　律令体制について、政治や地方の動向なども踏まえて多角的に考察し、表現している。 　地方支配の変化に着目し、奈良時代の政治や平安初期の政治改革とも比較しながら、摂関政治の特質とその後の展開について考察し、根拠を示して表現している。 c：黎明期の日本列島の歴史的環境と文化の形成について考察することを通じて、旧石器文化・縄文文化の特色を明らかにしようとしている。 中世社会の特色について多面的・多角的に考察することを通じて、時代を通観する問いを表現し、追究しようとしている。			

	第Ⅱ部 中世	第5章 院政と武士の進出 第6章 武家政権の成立 第7章 武家社会の成長 第8章 近世の幕開け	a：貴族政治や土地支配の変容などをもとに、諸資料から得られる情報を適切かつ効果的に調べてまとめ、古代から中世の国家・社会の変容を理解している。 諸資料から情報を読み取り、源平の争乱から執権政治確立までの歴史過程、封建制度の成立、鎌倉幕府と朝廷による二元的支配の構造、執権政治の特質、御家人の特質やその地域支配について理解している。 アジア各地やヨーロッパ諸国との交流に関する諸資料から情報を読み取り、織豊政権の特色や貿易・対外関係について理解している。 b：武士が台頭する契機や、この時期の土地制度の仕組みなどを考察し、古代から中世への時代の転換について根拠を示して表現している。 c：中世社会の特色について多面的・多角的に考察することを通じて、時代を通観する問いを表現し、追究しようとしている。	定期考査／提出課題／発問評価	定期考査／提出課題／発問評価／発表・レポート提出	提出課題／授業態度／発表・レポート提出

2	第Ⅲ部 近世	第 9 章 幕藩体制の成立と展開 第 10 章 幕藩体制の動揺 第 11 章 近世から近代 近代･現代の展望 第 12 章 近代国家の成立 第 13 章 近代国家の展開と国際関係	a: 幕藩体制下の支配体制や封建的身分秩序の形成に関する諸資料から適切に情報を読み取り、江戸時代の社会の構造を理解している。 b:織豊政権下における社会の仕組みと幕藩体制下とを比較･考察して、幕藩体制の特質について多面的･多角的に考察し、表現している。 c:織豊政権と幕藩体制の社会の仕組みを比較･考察しながら、幕藩体制が確立する画期について、主体的に追究しようとしている。	定期考査／提出課題／発問評価	定期考査／提出課題／発問評価／発表･レポート提出	提出課題／授業態度／発表･レポート提出
	第Ⅳ部 近代･現代	第 14 章 近代の産業と生活 第 15 章 恐慌と第二次世界大戦	a: 産業の発達の背景と影響などに着目し、諸資料から産業革命の展開について適切に情報を読み取り、地域社会における労働や生活の変化が社会問題を生み出したことを理解している。 ｂ:地域社会の変化などを踏まえて産業全般の変化がもたらされたことや、労働問題や公害問題の発生について多面的･多角的に考察し、表現している。 ｃ:産業の発展とそれによって発生した社会問題への対応について課題を見出し、主体的に追究しようとしている。	定期考査／提出課題／発問評価	定期考査／提出課題／発問評価／発表･レポート提出	提出課題／授業態度／発表･レポート提出

3	第Ⅳ部 近代・現代	第 16 章 現代の世界と日本 現代日本の課題の探究	a: 第二次大戦前後の政治や社会の類似と相違などに着目して、戦後の諸改革の内容と日本国憲法の制定に関わる諸資料を読み取り、占領政策と諸改革について理解している。 b:地域社会の変容にも留意しながら、占領前後の社会や思想・文化などを比較・考察し、その結果を、根拠を明確にして表現している。 c:連合国による日本占領機構の特色やその目的を考察することを通じて、戦後改革がどのような社会の枠組みを形成したのか、現代の日本との関係性を踏まえながら、主体的に追究しようとしている。	定期考査／提出課題／発問評価	定期考査／提出課題／発問評価／発表・レポート提出	提出課題／授業態度／発表・レポート提出
			a: b: c:			

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度